

さとうきび栽培暦（宮古地区）夏植

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏植	土づくり					植付 適期	有効 分けつ期	伸長停滞期			伸長初期		生育旺盛期			生育後期		登熟期		収穫期					
作業内容	緑肥は種・堆肥散布		緑肥すき込み 深耕・耕うん		植付 施肥 防除	平均培土 施肥 防除		高培土 施肥 防除			台風後はかん水して除塩 					収穫									
	かん水																								

作業のポイント

緑肥は種・堆肥散布



- 緑肥(クロタリヤ等)や堆肥で土づくり

緑肥すき込み

- 植付1ヶ月前までに実施

深耕・耕うん



- 深く根が張るようにプラソイラ等で深耕(心土破碎)
- 土を細かく耕し、発芽を向上させる

植付



- 育苗した苗(病害虫の被害が無く、若い苗)を使う
- ↑ 発芽が良くなる

- 大雨で畝が崩れて植溝が埋まったら、その土をどかして発芽を促す
- 基肥を施用(または植付約2週間後の芽が揃った時に芽出し肥)
- ※ 芽出し肥施用後は、芽を埋めないように浅く培土(補植する場合は、補植時に施肥してもよい)
- 植付の約3週間後に、茎と茎が50cm以上空いている所に補植

植付時の防除

- 土壌害虫(ハリガネムシやコガネムシ類)やメイチュウ類の殺虫剤を土壌に混和*
- ※ 混和: 土に混ぜ込むこと

植付時の除草

- 土壌処理型の除草剤を散布
- ※ 発芽前に散布(発芽後は薬害発生の恐れあり)
- ※ 降雨の翌日等の土が湿っている時が効果的
- ※ 後ずさり散布し、散布したところを踏まない
- ※ 1回の散布で、40~50日間は雑草を抑制できる

平均培土



- 分けつ茎が4~5本になり、培土の土で埋まらない長さになったら実施

※ 母茎の茎の長さが30cm、分けつ茎の長さ10cm以上が目安

平均培土時の施肥

平均培土時の除草

- 梅雨前や培土時にも除草剤を散布

平均培土時の防除

- メイチュウ類等の殺虫剤を散布

高培土



高培土は株の中に土を十分に入れる

高培土時の施肥

- 緩効性肥料が効果的(ゆっくり長く効く)

高培土時・台風前の防除

- イネヨトウ、ガイダー、ワタアブラムシやバッタ等に農薬散布

高培土時・台風前の除草

- 高培土時に、除草剤を散布

収穫後の管理



- 株出するなら、収穫後1週間以内に株出管理
- 更新予定なら、機械収穫で固くなった土をプラソイラ等で深耕

- 機械作業や栽培管理ができない場合は、受託組織を活用しましょう。
- 各作業には、目的と効果的な時期、作業法があります。この機会に、確認してみませんか。